



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
令和3年度学校だよりNo.38
令和4年1月27日

会津美里町立宮川小学校長 星 潔

新型コロナウイルス感染症対策！

1月25日に配付した文書の通り、町教育委員会より通知があり、学校の感染症対策の行動基準がレベル2相当(感染リスクの高い学習活動を停止する等の措置)に引き上げられました。会津地方でも特に会津若松市や猪苗代町で、新型コロナウイルスが感染拡大を見せている現状もあり、ご理解いただければと思います。学校では、更に感染対策を重視しながら、教育活動を行ってまいります。繰り返しになるところもございますが、ご家庭におかれましても以下の点に留意していただきますようお願いいたします。

1 対象期間

～2月20日(日)までの予定ですが、期間が変更される場合もございます。

2 対象期間における対応

(1) 感染リスクの高い学習活動については停止いたします。

- ・各教科等に共通する活動として、「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
- ・音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
- ・家庭、技術・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」
- ・体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

- ・理科における「児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
- ・図画工作、美術、工芸における「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」

※ こちらの活動は、感染状況を考慮し、可能な限り感染症対策を行った上で、徐々に実施を検討していきます。

※ できるだけ個人の教材教具を使用し、児童同士の貸し借りはしません。忘れ物がないように気をつけさせてください。

(2) 感染症対策を行った上で実施します。

・朝なわとびは現在上学年と下学年に分けて週2回ずつ実施しておりますが、ソーシャルディスタンスを十分に確保できるよう、低中高学年に分けて週1回ずつ実施します。

(今週は中止し来週からスタートします)

・鼓笛練習は3, 4年生の鍵盤ハーモニカの練習は中止しますが、5年生のマスクを外すことなく練習できる楽器は、感染症対策を十分に行って実施します。

※ 学校では毎日、児童がよく手を触れる場所等について、消毒をスクール・サポート・スタッフが行ってまいります。

3 感染症対策への協力をお願い

1 感染源を絶つこと

児童生徒の同居する家族に発熱や風邪等の症状が見られる場合も、出席停止の措置をとります。児童の健康チェックカードへ記入をよろしくお願いいたします。(1月分は記入欄がありませんので、カード右側に「OK」とご記入ください。)もちろん児童本人に発熱等の風邪症状が見られる場合も出席停止となります。ご家庭での登校前の検温等の健康チェックを確実にしていただき、発熱等の症状が見られる場合には、早期の体調回復のため自宅での休養をお願いいたします。

2 感染経路を絶つこと

- ・「うたしてマスクか」(うがい、たい温計測、しょう毒、て洗い、マスク、かん気)の確実な実施

学校はもちろん学校以外でも「うたしてマスクか」の徹底をお願いいたします。

3 抵抗力を高めること

- ・身体全体の抵抗力を高める

「十分な睡眠」、「適度な運動」及び「バランスの取れた食事」を心がけるよう、ご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。

4 学校への連絡

児童及び同居されるご家族について、次に該当する場合は、本校のみならず兄弟姉妹が通学されている学校への連絡をよろしくお願いいたします。

- ・発熱等の症状が継続的に4日以上続く場合
- ・PCR検査を受けることになった場合
- ・PCR検査結果が判明した場合(陰性の場合も含む)
- ・濃厚接触者に特定された場合

※ 上記については教頭(不在の場合は教務)へお伝えください。

※ その他にも心配なことがありましたら教頭まで連絡をお願いいたします。

5 その他

- ・タブレットのオンライン接続テストを今週末に実施します。ご協力よろしくお願いいたします。詳細は町教育委員会から発出されました別文書にてご確認ください。(1月26日付)

校長のひとりごと

1月25日(火)の放送朝の会で、子どもたちにスキー教室中止の話をしました。子どもたちの思い、特に6年生の気持ちを考えると本当に胸が痛かったです。しかし、まずは通常の教育活動をしっかりと行っていくことが、現状では1番大切なことです。新型コロナウイルス感染症は終わりが見えません。今のこの状態ですと、どんなに注意していても罹患してしまうことはあると思います。だからこそ1日1日を大切に、今日できることを先延ばしにしないで、日々チャレンジを続けていくことが大切になると強く思います。また誰が罹患してもおかしくない状況です。少なくとも「チーム宮川」からは誹謗中傷などが発生することなく、噂話が溢れ出ることなく、普段通りの毎日を送っていけるようにしていきましょう。終わりが見えないことはとても辛く苦しいですが、子どもたちのために、この現状の中で最大限にできることを考えていきたいと思っております。ピンチをチャンスに変えられるようにチャレンジしていきたいと思っております。